

呉の景気観測（DI方式）

—令和7年12月調査結果—

呉商工会議所

製造業・非製造業共に若干の改善に対し、先行きは厳しい状況。

—トランプ関税等による景気に対する不安が、非製造業全般で見通しを悪化させている—

<ul style="list-style-type: none"> ・調査方法 郵送によるアンケート調査 ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について ・令和7年12月を前年同月と比較 ・令和8年1月～3月の先行き見通しを令和7年12月と比較 ・調査時期 12月 ・調査対象 呉市内の業種別主力企業100社（回答74社、回収率74.0%） 	<p>12月の景況を見ると、下の表の通り、総合（全業種）DI（良い－悪い）は$\Delta 7.1 \rightarrow 2.7$と、全体では前期に比べ、9.8ポイント改善 業種別では、製造業は、68.4%の企業が横ばいの回答で、DIは$\Delta 8.1 \rightarrow 10.6$と18.7ポイント改善。 非製造業は、77.8%の企業が横ばいの回答で、DIは$\Delta 6.1 \rightarrow \Delta 5.6$と0.5ポイント改善。</p>
<p>【DI方式について】 DI（ディフュージョン・インデックス）は、各調査項目について判断の状況を示す。 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす。 DI = （増加・好転等「良い」の回答割合） － （減少・悪化等「悪い」の回答割合）</p>	<p>令和8年1月～3月の先行き見通しでは、総合（全業種）DIは$0.0 \rightarrow \Delta 4.1$と4.1ポイント悪化の見通し。 業種別では、製造業は、DIは$10.8 \rightarrow 7.9$と2.9ポイント悪化の見通し。 非製造業は、DIは$\Delta 12.1 \rightarrow \Delta 16.7$と4.6ポイント悪化の見通し。</p>

総合（全業種）では、 $\Delta 7.1 \rightarrow 2.7$ と、呉市の景況は前期に比べ、9.8ポイント改善。しかし来期は、 $0.0 \rightarrow \Delta 4.1$ と、4.1ポイント悪化の見通し。

業種別概況 製造業・非製造業は共に改善している。12月調査による令和8年1～3月先行きDI数値は、令和7年9月調査による令和7年9～12月の先行き見通しに比べて製造業・非製造業は共に悪化する見通し。

呉市の景況は、製造業では、航空機部品及び一部造船業、自動車部品が好調。非製造業では、建設業は厳しい状況が続く、小売業・サービス業は共に景気に左右され先行き不透明である。

トランプ関税問題は、製造業・非製造業共に先行きが見通せず、設備投資に躊躇しているが、令和8年に地元自動車メーカーの主力車種の新型車が販売されることが発表され、自動車部品関連に明るい話題となっている

業種別景況（DI）

	2025年 9月 実績	2025年 12月 実績	今 期			9月調 10～12月 見通し	12月調 1～3月 見通し	来 期		
			回答社数構成比（%）					回答社数構成比（%）		
			好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化		
総合（全業種）	$\Delta 7.1$	2.7	14.9	73.0	12.2	0.0	$\Delta 4.1$	10.8	74.3	14.9
製造業	$\Delta 8.1$	10.6	21.1	68.4	10.5	10.8	7.9	13.2	81.6	5.3
非製造業	$\Delta 6.1$	$\Delta 5.6$	8.3	77.8	13.9	$\Delta 12.1$	$\Delta 16.7$	8.3	66.7	25.0
建設業	$\Delta 28.6$	$\Delta 25.0$	0.0	71.4	28.6	$\Delta 28.6$	$\Delta 37.5$	0.0	62.5	37.5
卸売業	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3	$\Delta 8.3$	7.1	21.4	64.3	14.3
小売業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	$\Delta 33.3$	0.0	66.7	33.3
サービス業	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5	$\Delta 12.1$	$\Delta 25.0$	0.0	75.0	25.0

呉市の業種DI(R6.3～R7.12)

